



## 2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年9月28日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東  
コード番号 3075 URL <https://www.choushimaru.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 仁科 善生 TEL 043-350-1266  
四半期報告書提出予定日 2023年9月28日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年5月期第1四半期の業績 (2023年5月16日～2023年8月15日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	5,167	19.4	585	—	587	303.4	367	336.9
2023年5月期第1四半期	4,329	9.0	12	△46.3	145	△56.2	84	△58.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	26.82	26.80
2023年5月期第1四半期	6.14	6.14

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期第1四半期	11,548	8,572	74.0	623.83
2023年5月期	11,402	8,367	73.2	609.00

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 8,545百万円 2023年5月期 8,342百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2024年5月期	—				
2024年5月期 (予想)		0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年5月期の業績予想 (2023年5月16日～2024年5月15日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	10,232	16.1	673	—	679	281.8	421	200.5	30.78
通期	21,115	9.3	1,131	69.0	1,143	44.0	696	24.7	50.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年5月期1Q	14,518,000株	2023年5月期	14,518,000株
② 期末自己株式数	2024年5月期1Q	819,486株	2023年5月期	819,486株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年5月期1Q	13,698,514株	2023年5月期1Q	13,698,514株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、日常生活の制約が緩和され、経済活動の正常化が進みました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、円安の進行による原料・資源コストの高騰、エネルギー価格の高止まり、及び慢性的な労働力不足等の影響等により、引き続き先行き不透明な状況が続きました。

外食業界におきましては、行動制限の緩和に伴いイートイン客数が急回復する中で、業界全体が営業活動を活発化しました。一方で、昨年から続く原材料・エネルギー価格及び物流費の上昇を背景に、業界全体で価格改定の動きが継続しております。更なる物価上昇の懸念から消費者の生活防衛意識が高まっているものの、経営環境はコロナ前に向けて回復基調に転じております。

このような状況において、当社は、2023年5月16日のグランドメニュー刷新を機に「銚子丸ブランドを満たす品質にこだわった商品の提供」を堅持するための価格改定を実施しました。一方で、2023年7月の新イベント「銚子丸の夏まつり」の開催や、持ち帰りメニューの充実等により来店動機の高揚に努めました。また、お客様のスマートフォンから注文できる「テーブルモバイルオーダー」システムの全店導入等、顧客利便性の向上に取り組みました。併せて「銚子丸LINE会員証(ミニアプリ)」登録者を対象に「夏のスペシャルキャンペーン」を開催し、会員数の拡大及びリピート客数の増大を図りました。

店舗開発につきましては、2023年6月に「すし銚子丸横浜六ツ川店」(横浜市南区)を新規に出店しました。一方で、限られた人的資源の有効活用をはじめ、経営効率化の観点から「すし銚子丸南浦和店」(2023年6月)、「同 三鷹店」(同7月)、及び「同 浦和木崎店」(同7月)を閉店しました。また、コロナ収束に伴うテイクアウト需要急減により店舗採算の確保が難しくなった「すし銚子丸テイクアウト専門店荻窪店」(2023年6月)、「同 初台店」(同7月)、及び「同 落合店」(同7月)を順次閉店しました。この結果、当第1四半期会計期間末の店舗数は88店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は、当初予想を上回るイートイン客数の回復等により、51億67百万円(前期比19.4%増)となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に加えて、コロナ下に推進してきた機械化・省力化等による利益体質の改善努力が奏功し、営業利益は5億85百万円(同4,623.4%増)、経常利益は5億87百万円(同303.4%増)、四半期純利益は3億67百万円(同336.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ1億46百万円増加し、115億48百万円(前事業年度末比1.3%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ34百万円増加し、77億5百万円(同0.5%増)となりました。主な内訳は、売掛金の増加39百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億11百万円増加し、38億43百万円(同3.0%増)となりました。これは、主に建物(純額)の増加1億12百万円によるものです。

#### (負債・純資産)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ58百万円減少し、29億76百万円(前事業年度末比1.9%減)となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ56百万円減少し、25億5百万円(同2.2%減)となりました。主な内訳は、未払法人税等の増加2億17百万円、短期借入金の減少96百万円及び未払金の減少1億95百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2百万円減少し、4億70百万円(同0.4%減)となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ2億4百万円増加し、85億72百万円(同2.4%増)となりました。主な内訳は、利益剰余金の増加2億3百万円であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期累計期間の業績及び第2四半期以降の業績見込みを鑑み、2023年6月29日公表の2024年5月期(2023年5月16日～2024年5月15日)の通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日公表の「2024年5月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年5月15日)	当第1四半期会計期間 (2023年8月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,180,759	6,112,581
売掛金	839,219	878,695
原材料及び貯蔵品	224,772	252,733
その他	425,825	461,354
流動資産合計	7,670,576	7,705,364
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,310,959	1,423,304
その他（純額）	884,225	830,551
有形固定資産合計	2,195,184	2,253,856
無形固定資産	106,639	183,899
投資その他の資産		
繰延税金資産	366,867	366,867
敷金及び保証金	858,705	849,190
その他	204,866	189,757
投資その他の資産合計	1,430,439	1,405,815
固定資産合計	3,732,264	3,843,571
資産合計	11,402,841	11,548,936
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	675,610	716,585
短期借入金	192,000	96,000
未払金	1,445,304	1,249,716
未払法人税等	—	217,894
賞与引当金	89,000	70,600
株主優待引当金	23,687	19,398
その他	136,656	135,409
流動負債合計	2,562,259	2,505,604
固定負債		
資産除去債務	310,808	308,715
その他	162,000	162,000
固定負債合計	472,808	470,715
負債合計	3,035,067	2,976,319

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年 5 月 15 日)	当第 1 四半期会計期間 (2023年 8 月 15 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	469,761	469,761
利益剰余金	8,469,956	8,673,023
自己株式	△697,275	△697,275
株主資本合計	8,342,442	8,545,509
新株予約権	25,331	27,107
純資産合計	8,367,773	8,572,617
負債純資産合計	11,402,841	11,548,936

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年5月16日 至 2022年8月15日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年5月16日 至 2023年8月15日)
売上高	4,329,205	5,167,427
売上原価	1,836,598	1,983,440
売上総利益	2,492,606	3,183,987
販売費及び一般管理費	2,480,208	2,598,390
営業利益	12,397	585,597
営業外収益		
受取利息	237	222
協賛金収入	1,158	45
雇用調整助成金	—	108
受取協力金	129,222	—
その他	2,887	1,786
営業外収益合計	133,504	2,162
営業外費用		
支払利息	174	100
その他	57	8
営業外費用合計	231	109
経常利益	145,671	587,650
特別利益		
新株予約権戻入益	159	340
特別利益合計	159	340
特別損失		
減損損失	6,612	—
固定資産除却損	682	2,200
特別損失合計	7,294	2,200
税引前四半期純利益	138,536	585,791
法人税等	54,436	218,341
四半期純利益	84,099	367,449

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。